

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		事業コード		担当部課	部課コード	810300	04-2998-9242		
810318		子ども写生大会開催事業		社会教育課					
開始年度		昭和 61 年度	終了年度	年度	グループ				
社会教育グループ									
事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画、所沢市生涯学習推進計画			文化芸術振興基本法・社会教育法、所沢市子ども写生大会実行委員会交付金交付要綱				
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	社会教育	基本方針	家庭・地域の教育力の向上		
事業開始の背景	戦後の混乱した社会の中で市内の子どもの情操を育てることを目的として、昭和27年に教員による自主的な研修団体「所沢市教育研究会」が、ユネスコ村を会場に第1回写生大会(「ユネスコ写生会」)を開催した。昭和61年度に実行委員会が組織され、所沢市から交付金を交付している。								
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
	子どもたちが野外で絵を描くことによって、自然の美しさや物の形のおもしろさに親しみ、美しいと感じる心や表現力を育てる。また、多くの子どもたちに親や友人とのふれあいを深めることができる場を提供する。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	342,564	人			
	市内在住・在学の幼児・小学生・中学生・高校生とその保護者(対象数は所沢市民)			平成 27 年度	343,067	人			
事業の具体的な内容及び実施方法	1 実行委員会による開催要項の策定 2 西武園ゆうえんちの会場提供及び糊サクラクレパスの画材や賞品提供の2社の協賛を得て、所沢市子ども写生大会を実施 3 提出作品を審査、入賞(特賞・特選・入選各100点程度と一般入選10点程度)を決定 4 入賞作品展を開催 5 幼稚園・小中学校等を通じて賞状・賞品を授与 6 特賞作品の巡回展を希望の小中学校で開催								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額			225	225	225			
	決算(見込み含む)			225	225				
	(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
	正規職員人件費		0.50 人	4,361	0.45 人	3,897			
	事業費合計			4,586	4,122				
財源内訳	一般財源		4,586	4,122	225				
国・県支出金		0	0	0					
その他()		0	0	0					
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標		
	活動実績	作品数	提出された作品の数	枚	1,707	1,448	1,541	1,800	
		参加者数(子ども)	子どもの参加人数	人	1,581	1,321	1,368	1,800	
		参加者数(高校生・一般)	高校生・一般の参加人数	人	870	798	928	1,000	
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
	成果指標	作品提出率(子ども)	提出作品数 / 参加者数	人	目標値	91	91	96	96
				実績	92	91	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図 <input type="checkbox"/> 実績縮小図		
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	101	100	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析					
	入賞作品展と併せて行われる造形活動体験ワークショップに力を入れた。1日目は紙コップとキャップを使った造形表現、2日目には自分の体をかたどったアート表現のワークショップを企画し、実施にあたっては、例年よりワークショップの場所を大きく取るなどレイアウトを工夫した。なお、来場者は延べ944人であった。								
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	野外で絵を描く貴重な機会となっていて、子どもたちの情操を育てることに寄与している。今後も趣向を凝らしながら継続して実施していく。				
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	チラシ作成、チケット印刷、賞品作成、通信運搬費、研修会講師謝礼など事業を実施するために必要な予算である。				
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性					
	平成26年度に、作品を通じて描いた子どもと実行委員との対話がなされるよう、「審査員からのコメント」をつけるようにしたところであるが、これをさらに推し進めて、描いた子どもから審査員に向けてのメッセージである「こころをみて！」欄を画用紙裏面に追加した。			本事業は野外で絵を描く機会や家族をふれあう場を提供するだけでなく、行政・協賛企業(民間)・実行委員会(ボランティア)・学校の連携によって実施されていることにも大きな意義があり、今後も継続して実施していく。					
	評価日	H28.8.19	評価者職氏名	社会教育課長 安田 幸雄					
環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	資料作成	規制を受ける環境法令等	無	緊急事態	無	